鳥獣捕獲申請について

(申請にあたって必ずお読みください)

「有害鳥獣駆除」は、野生の鳥獣が生活環境や農産物などに被害を与え、捕獲する以外に被害を防止できないときに、原則として禁止されている野生鳥獣の捕獲等を、例外として許可を受けて行うことができる制度です。

農政課では限定された8種の野生獣が捕獲申請の対象となりますが、特定外来生物に指定されているアライグマ、ヌートリアについては本市の定める「防除実施計画」に基づき防除を行いますので、別の取り扱いになります。

許可を受けて捕獲等を実施される方は、許可証記載事項を遵守するとともに、動物愛護法などにも留意し、捕獲実施から処置まで、自らの責任で行っていただきます。

捕獲等の許可申請には、実際被害に遭われている方(依頼主)からの※「有害鳥獣捕獲等要望書」も必要です。(申請者=依頼主の場合も提出していただきます)

以下は、許可申請書(様式第2号)記入上の留意点です。

1 申請者

捕獲等を実際に行う人の住所・電話番号・氏名・職業・生年月日を記入してください。複数で捕獲を行う場合は、所定の様式(様式第2号 別紙1)により申請者名簿を作成してください。許可を受けた方以外の人に委託・代行させることはできません。

2 捕獲等をしようとする獣をしようとする獣類の頭数

捕獲しようとする獣の数は、被害を防止するための必要最小限の頭数としてください。

3 捕獲等又は採取等の目的

捕獲等を行う理由(〇〇被害の防止等)を記入してください。

4 捕獲等又は採取等の期間

捕獲等を実施したい期間(最長12ヶ月間)を記入してください。

なお、許可証発行の事務手続きには1週間程度が必要です。余裕をみてください。

5 捕獲等又は採取等の区域

捕獲等を実施する場所の所在地を記入してください。

複数ある場合は1箇所記入し、その他〇〇箇所と記載してください。

6 捕獲等又は採取等の方法(銃器を使用しない方法)

箱ワナ、手取り等捕獲の方法を記入してください。

狩猟免許の対象になる猟具を使用するときは狩猟免許が必要になることがあります。

なお、尼崎市内は全域銃猟禁止区域です。

7 捕獲等又は採取等をした後の処置

埋却、焼却等、捕獲した鳥獣が被害発生を繰り返さない処置方法を記入してください。

8 「学術研究を目的とした場合にあっては研究の事項及び方法」から「備考」欄については、該当が無ければ空欄のままで結構です。

※「有害鳥獣捕獲等要望書」

獣捕獲許可は、被害が発生している地域の代表者（自治会長、農会長、施設管理者等）が市町長に「有害獣の捕獲を要望」し、市町長が必要に応じて現地調査を実施した上で、被害が発生している地域の代表者が捕獲班の代表者（班長）に有害獣の捕獲を依頼し、依頼を受けた班長が、「捕獲許可申請書」により市町長に申請するという流れです。

よって、捕獲許可申請の際には、必ず「有害鳥獣捕獲等要望書」も提出してください。

（問い合わせ先）

尼崎市経済環境局 経済部 農政課

TEL (06) 6489-6542

FAX (06) 6481-6790